

# 和地ひとみレポート No.48

関東も梅雨入り。

いざ！という時のための訓練は必要～水防訓練～



## ■実際にやってみることの重要性

…関東の梅雨入り宣言の翌日、6月10日（日）の午前中、市役所の駐車場にて水防訓練が実施されました。毎年行われている水防訓練ですが、今回より消防署、消防団のみならず、水害の発生率の高い自治会（大和通り自治会、第一光が丘自治会）と消防庁災害時支援ボランティアに市が参加を呼び掛けたことにより、市民と共に訓練が実施されました。

…訓練では土のうの作成方法、積み上げ方などについて学んだ他、各家庭でもできる簡易水防工法については、市民が中心となり消防署の方の指導を受けながら実際に自分たちで浸水被害を防ぐ様々な方法を体験。見てみると「なるほど」「こういう家庭にあるものを使えば良いのか」と納得することばかりですが、もし、水害が発生した場合、このようなことを思いつくかと言われると、緊急時にはそこまで行動できないのではないかと感じました。やはり、備えあれば…という考え方で、このような訓練の必要性を痛感します。

## ■ 台風とは違う、ゲリラ豪雨

…今回の水防訓練の中で消防署長からは『台風は進路が予測され、備えをすることができるが、昨今発生しているゲリラ豪雨、雹（ヒョウ）、竜巻などは突然発生することが多く、備えをすることが難しい。いざ、発生すれば消防も出動するが、そのほかの災害と同じく自助、共助、公助ということを考える必要がある』という旨のお話がありました。また、昨今は地下を駐車場に使用するなど土地の活用方法も多様になっていることにより、思わぬ水害の発生もあるとのことでした。

## ■ 家庭で出来ることを

もっと知らせてほしい

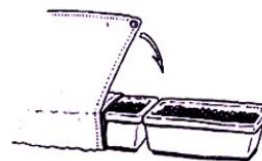
…今回の水防訓練で市民自らが行った簡易水防工法は、多くの方が知っておくべき方法です。昨今のゲリラ豪雨などの影響で、日ごろは冠水など考えられなかった地域でも、排水溝のつまりなどの影響からマンホールからの水の噴出も皆無とはいえません。家庭にあるものを利用して屋内の浸水を防げるこの簡易水防工法を、もっと多くの方に知らせることにより、被害を縮小することが可能ではないかと思えます。

…昨年の東日本大震災発生以後、地震に対する備えについては多くの情報が出ていますが、これからの季節、身近になる大雨などへの備えを知っておくことも必要です。そのために、今回のような水防訓練をもっと身近なものにできるように市でもより多くの機会を作るべきだと考えます。来年はさらに多くの自治会の参加を呼び掛けてもらえるように市にも提言したいと思えます。

## 【簡易水防の一例】

土を入れたプランターをレジャーシート巻き込み浸水を防ぐ。

40リットル程度の容量のごみ袋を二重にして中に半分程度の水を入れ閉める。ごみ袋の強度が不足する場合は、重ねる枚数を増やします。出入り口などに隙間なく並べて使用します。二段重ね出来ないため、10cm程度の水深が限度です。（買い物ポリ袋でも代用可）



市政、議会について「自然体」「ざっくばらん」にレポート

「身近なようで知らなかった市政、議会。伝えることがスタートだと思います。」



東大和市 市議会議員  
和地 ひとみ

【プロフィール】1970年 東京都北区生まれ。父の転勤で1歳から群馬県で育つ。幼稚園からカギっ子。リーダーシップを発揮し、小学校で児童会長、中学校でも生徒会長を務める。大好きな音楽を究めようと武蔵野音楽大学に進学、卒業。卒業後は群馬の山奥の小学校で臨時教諭として担任を2年勤め、新しい試みで授業を活性化させ「元気印の先生」として保護者・生徒から親しまれた。／「学校」の外の一般社会で挑戦しようとベンチャー企業の(株)シートゥーネットワーク（※スーパーマーケットを経営。店頭公開から一部上場、外資系企業に転換）に社長秘書として入社。のち店舗現場に異動、同社で初の女性店長となる。その後、人材開発部長を拝命。／『人を活かす』経営を学ぶため一念発起しカナダに留学。外から見た日本の将来に、漠然とした不安を感じる。帰国後もベンチャー企業を選び不動産投資会社に勤務。／同じビジネス界出身の加藤公一代議士との出会いに触発され、政治への道を志して2010年末に退社。現在、新人東大和市議会議員として、日々、奮闘中。

■ 連絡先 和地 ひとみ事務所 HP : <http://www.wachi1103.jp>

✉ [wachi\\_hitomi@cocoa.ocn.ne.jp](mailto:wachi_hitomi@cocoa.ocn.ne.jp) 【電話・FAX】 042-516-8546

〒207-0003 東大和市狭山2-864-3-202